

岡 洋子（おか ようこ）

福島市出身、22歳で浪江町刈宿の農家に嫁いでくる。2011年3月東日本大震災、大津波、原発事故により浪江町は全町民避難になったため福島市に避難。2014年から「浪江まち物語つたえ隊」に加入し紙芝居を始める。以来、震災のことをもっと伝えたいと、地震、津波、原発事故避難にまつわる様々なエピソードを紙芝居化し、昔話も含めると約30本のレパートリーがある。

2018年浪江町の自宅倉庫を帰る場所としてリフォームし「O CAFE」を作り、田畑を管理しながら、震災語り部、紙芝居上演、音楽コンサートなど開催。また、草木染めで浪江町の色を感じる「namiro」、陶芸で土に触れる喜びと器作りなど、築き上げてきた全てがゼロになった暮らしや故郷を思いながら出来ることに一つ一つ挑戦している。



佐々木 葉子（ささき ようこ）

鹿児島出身。鹿児島大学教育学部音楽科、尚美ディプロマコース卒業。2004年、2007年、2017年と鹿児島・神奈川・東京にて打楽器コンサート出演・開催。2015年、2019年、実家のある鹿児島県沖永良部島にて小中学校打楽器ソロコンサート、2019年東京、2023年鹿児島にて打楽器コンサート～雨の音楽～ゲスト松倉利之氏、開催。

ソロ演奏、音楽劇、歌とピアノと打楽器のアンサンブル等で活動中。

心臓の拍動、朝起きる、夜寝る、歩く、走る、みんなリズム。リズムを身体で感じる、表現することは楽しく生きること。おとなも子どもも、元気がないときこそ、手をたたいてみましょう！ジャンプしてみましょう！ ほら、楽しい！



● 藤井ようことフクシマ応援隊

藤井ようこを中心に、2011年4月を1回目として「東日本大震災復興支援チャリティコンサート」をこれまでに15回企画開催する。収益金を初回は仙台フィルハーモニー管弦楽団に、2回目以降は放射能の影響から子どもの健康を守る“保養キャンプ”などの活動が続ける団体に寄付している。

フクシマの復興と日本に住むすべての子どもたちの健康を守るために、私たちに何ができるかが問われている今、志をともにする人々とゆるく繋がり、音楽の喜びを交歓しながら、各々の気概と少しずつの知恵を持ち寄って活動が続けている。今回のコンサートも経費を除く収益金は福島の子どもの放射能から守る為に活動する団体に全額寄付します。また寄付も随時受け付けています。